

## 令和 6 年度 小学部 算数科 で大切にしたいこと

—算数科における実態、学部で目指す姿—

### ＜実態・課題＞

- ・言葉が少ない児童が多く、グループの中でも実態差がある。
- ・一つの事物に対する興味、集中力が続かない児童が多い。
- ・興味の幅は狭いが、操作性のある活動や興味があること、見通しのもてた活動には取り組むことができる。
- ・知っている言葉があっても、正しく概念と結びついていないことがある。
- ・算数科で学んだことを、自分から結び付けて生かそうとすることは難しい。



### ＜目指す主体的な学びの姿＞

- ・見通しをもって、自分から取り組む姿
- ・自分から教材に手を伸ばす姿
- ・課題を自分で選んで取り組む姿
- ・興味のある活動が広がっていく姿

### ＜目指す学びの実感の姿＞

- ・「できた」と伝える姿
- ・自分の得意なものを選ぶ姿
- ・学んだことを自分なりの方法で表したり、他の場面でやろうとしたりする姿
- ・言葉と概念が正しく一致した姿

## 学部で大切にしたいこと

| 「主体的な学び」のために                                                                                                                                     | 「学びの実感」のために                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・好きなキャラクター、ゲームなど児童の興味・関心を生かし、楽しく学習できるようにする。</li> <li>・児童が教具に取り組む中で、数学的な見方・考え方を働かせられるように気付きを促す。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・算数科で学んだことを他教科・領域で生かせるように計画する（得点係、計測係などの役割設定）。</li> <li>・様々な場面、様々な人から評価される機会を設定する。</li> <li>・数学的なものの見方を生活の中で意識できるように、「大きさはどうしますか？」「どちらが長いですか？」など意図的に言葉掛けする。</li> <li>・「答え」がある「めあて」を提示し、授業の中ででた「答え」を「振り返り」で取り上げ、「めあて」に立ち返る。</li> <li>・即時評価で「できた」を感じられるようにする。（「前と今」を比較し、できたポイントを見て分かるようにする。）</li> <li>・ICTを活用し、写真、動画で記録を残す。</li> </ul> |

## 令和 6 年度 中学部 国語科 における大切にしたいこと

### 【国語科における実態、学部で目指す姿など】

- 教師や友達との関わりを好んでいる
- 身振りや言葉で自分なりにコミュニケーションをとることができる
- 学習場面で自分の意見を伝えるようになってきた

△伝える、伝わる経験の不足

△相手に伝わるように話す力（語彙の少なさ、言葉遣い、順序立てる）

△相手の話を聞く姿勢、内容を聞き取る力

△相手の意見や気持ちを受け入れる

△公の場で自信をもってはっきりと話す、伝える



### 【学部で大切にしたいこと】

「伝える力」を育む → 今後「伝え合う力」へ

- ・語彙力      ・適切な言葉遣い      （・話を聞く態度、聞き取る力）
- ・相手に話す態度、伝わる話し方
- ・自分の意見を伝え合うことの楽しさ、伝わったという経験

（学習指導要領の内容では）

- ・知・技ア（イ）「発音や声の大きさに気を付けて話すこと」  
ア（カ）「普通の言葉との違いに気を付けて、丁寧な言葉を使うこと」
- ・思判表A ア「身近な人の話や簡単な放送などを聞き、聴いたことを書き留めたり分からないことを聞き返したりして、話の大体を捉えること」  
ウ「見聞きしたことや経験したこと、自分の意見などについて、内容の大体が伝わるように伝える順序等を考えること」  
オ「相手の話に関心をもち、分かったことや感じたことを伝え合い、考えをもつこと」
- B イ「相手に伝わるように事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること」

授業において

めあて→まとめ→ふりかえり の在り方を検討

## 令和6年度 高等部 国語科 における大切にしたいこと

### 【国語科における実態、学部で目指す姿など】

#### ○生徒の実態

- ・友達や教師と話し言葉で関わり、場面に応じた敬語を適切に使うことが難しいことがある。
- ・思いはあるけれど、表現方法に課題がある。発表△ ICT◎
- ・自分の考えに自信がない。教師に相談することで、思いや考えを書き始める。

#### ○目指す姿

- ・表現を増やして思いや考えが伝わったり、どの言葉を選ぶか自分の中の選択肢が増えたりするように、語彙力を高める。読む力を付ける。



### 【学部で大切にしたいこと】

#### 「伝え合う力」

#### 「表現する力」

を育む

- ・聞く姿勢
- ・反応する
- ・相手がどのように受け取ったか、まで意識する

#### ○主体的に学ぶ姿

- ・積極的に発表する、正確に伝えるために整理してから話す姿
- ・筋道を立てて考える姿（話形、5W1H）
- ・相手の意見を聞く、認める、受け入れる姿

#### ○学びを実感する姿

- ・相手の気持ち、状況を考えて話し掛ける姿
- ・頭の中で組み立てて詳しく話す、整理して聞く姿
- ・互いに心地よい関わり、円滑なコミュニケーションをとろうとする姿
- ・自分で書きたい言葉や思いを書いて表現する姿
- ・共通した身振りを増やして表現する、伝わる姿

### 授業において目指す取組

- ・めあての提示では、要点を絞る。
- ・振り返りが「思考の変化」や「気づき」でまとまるようにする。